

第2回協同組合クイズ クイズと回答 (2025.6.1～2025.7.31)

Q 1.日本における協同組合の組合員（複数の協同組合への加入は重複して計上）は1億人以下である。 キーワード：協同組合 組合員数

答え：×

解説：日本では、協同組合に延べ1億835万人超（2022年の統計）が組合員として加入しています（重複加入を含みます）。日本の総人口は1億2,494万人（2022年の統計）ですから、多くの方が何らかの協同組合に加入されていることになります。協同組合の業種は農林水産業・購買・金融・共済・就労創出・福祉・医療・旅行・住宅など多岐にわたります。

根拠URL：<https://www.japan.coop/study/statistic.php>

Q 2. 日本の「牛乳」は“国産100%”である。 キーワード：牛乳 国産 割合 （出題：茨城県酪農業協同組合連合会）

答え：○

解説：現在の日本では、牛乳は全て国産です。なお、令和3年度の食料自給表（概算値・農水省公表）によると、日本の牛乳・乳製品の自給率は、チーズ・脱脂粉乳など、乳製品として輸入されているものが多いので、63%となっています。

根拠URL：

<https://www.dairy.co.jp/dpedia/kulbvq000000ufcg-att/kulbvq000000w8p8.pdf>

Q 3. こくみん共済coopの共済事業のはじまりは、はたらく仲間が少しずつ掛金を出し合って「もしもの時の安心できる保障を」という思いから、70年前に大阪の地でスタートした『火災共済事業』である。 キーワード：こくみん共済 歴史 （出題：こくみん共済coop）

答え：○

解説：戦後復興間もない頃、何か起これば生活のすべてが失われた時代。「誰もが入れる保障があれば、安心して働ける」「みんなが力を合わせれば実現できる」という思いが、1954年に大阪の地で結実し、火災共済事業がスタートしました。

そして2024年、働く仲間のたすけあいの象徴である住まいる共済（火災共済・自然災害共済）は、70周年を迎えました。

根拠URL：

<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/index.html>

Q 4. JA 茨城県厚生連は県内に 6 か所の病院を有しているが、一番北に位置するのは「総合病院水戸協同病院」である。 キーワード：JA 茨城県厚生連 病院 （出題：茨城県厚生農業協同組合連合会）

答え：×

解説：一番北に位置するのは高萩市にある「県北医療センター高萩協同病院」です。他に、総合病院土浦協同病院（土浦市）、JA とりで総合医療センター（取手市）、茨城西南医療センター病院（境町）、土浦協同病院なめがた地域医療センター（行方市）、合わせて 6 つの病院を運営し、地域医療を守るために日々努めています。

根拠URL：

<https://www.iba-kouseiren.or.jp/facilities.php>

<https://www.tkgh.jp/guidance/kouseiren/>

Q 5. 日本では、約 1500 の食品添加物のうち天然香料と一般飲食物を除くと 833 品目が認められています。そのうち生活クラブが使用を許容している食品添加物は国の基準の約 10 分の 1 の「93 品目」である（2024 年 3 月末現在）。 キーワード：生活クラブ 食品添加物 （出題：生活クラブ生活協同組合）

答え：○

解説：生活クラブでは、「安全性に不安のあるものや不要なものは使わない。どうしても必要なものについて、使う場合は最小限にとどめて、すべて公開する」を原則にしています。加工食品の中には、どうしても必要な食品添加物もあると考えています。生産者とも話し合いながら、組合員自身が一つひとつ「使う」「使わない」を決めています。何が入っているかわかって、自分で選べることが一番大切です。

根拠URL：

<https://seikatsuclub.coop/activity/food/additive.html>